

東葛南部 6 市担当者会議の報告

【概要】

在宅医療・介護連携に係る関係市町村の連携を図ることを目的として、東葛南部保健医療圏内 6 市の担当者による会議を年 1 回開催。今年度は浦安市を幹事市として下記のとおり会議を開催。

○日 時：令和 7 年 5 月 16 日（金） 午後 2 時～午後 4 時

○会 場：浦安市役所 10 階 協働会議室

○出席者：船橋市、浦安市、鎌ヶ谷市、習志野市、八千代市、市川市、
オブザーバーとして千葉県、千葉市も参加

【協議事項】

◎在宅医療・介護連携の推進に向けた各市独自の取り組みとして

鎌ヶ谷市	歯科医と地域包括支援センターとの連絡票を作成。歯科医院での認知症発見と連携の啓発に活用している。
習志野市	在宅生活の中で起こることについて疾患別の媒体（骨折・脳卒中・認知症・がん）4 つを作成。疾患別に要介護状態から回復までの経過（例）を想定し、市民への普及啓発に活用している。
浦安市	エンディングノートについて、広報・自治会回覧で周知し反響が大きかった、民生委員へ研修を実施予定。

◎多職種連携に係る情報共有システムについて

課 題	書類提出や処理の時間等の観点から導入のハードルが高いと感じる医療・介護事業所が多く、システムの利用者が限られた事業所にとどまっている
	現在は様々な情報共有システムが開発され、各事業所で使用しているシステムが異なるため、市として統一したシステムの普及に苦慮している
⇒ 各市とも多職種連携情報共有システムの活用や代替システムの導入等について検討しているとのこと。	

◎在宅医療に必要な連携を担う拠点について

千葉市	多世代からの相談窓口として在宅医療連携支援センター拠点を置いたが、高齢者に関する相談以外（例えば在宅の精神障がい者に関する受診の相談など）が大幅に増えたという実情はない。
千葉県	市町村における在宅医療連携拠点（に相当するもの）の設置状況について調査はしたが、その内容（小児や障害福祉に係る連携がとれているか）までの把握はしていない。千葉県としても、在宅医療を担う拠点として高齢者だけでなく小児・障がい分野を含めた在宅医療連携拠点の在り方を保健所も巻き込んで進めていきたいと考えている。国から地域医療構想ガイドラインが出れば、それに準じた対応となる。

以上